

議会だより

発行／毛呂山町議会
編集／毛呂山町議会だより編集委員会
MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



運動会（光山小学校）

9月の定例会

臨時会・議会人事	2～3P
平成22年度一般会計決算、討論	4～5P
平成22年度 特別会計決算 平成23年度 補正予算・条例の改正など	6P
常任委員会レポート 審議結果	7P
いっぱん質問11名	8～13P
人事・議会の動き	14P

平成23年10月20日発行

第 74 号

この用紙は再生紙を使用しており、議員の自主編集で発行しています。

新体制スタート

平成23年9月1日、平成23年第3回（9月）臨時会を開催。任期満了に伴い8月21日執行の町議会議員選挙において14人の新たな議員が誕生、新体制がスタートしました。

初議会では、正副議長の選挙、各委員会委員の選任、一部事務組合議員の選挙、農業委員の推薦、監査委員の選任同意が行われました。

■議長就任あいさつ

議長 堀江快治

3月11日、未曾有の東日本大震災から七ヶ月が経過しても、なおその爪痕はいまだ生々しいもので、一日も早い復旧、復興を願うばかりであります。

さて、猛暑に見舞われた夏も、朝夕めっきり秋めいてまいりました。町民の皆様におかれましては、益々のご健勝をお喜び申し上げます。

この度、改選後の初議会におきまして、はからずも議員皆様方のご推挙をいただきまして、議長の要職に

就くことになりました。自らの浅学非才を顧みまして、責任の重さを一層痛感いたしておりますが、本町の発展と皆様にお約束した、公正・公平で、心豊かな町づくり、福祉の町づくり、学習環境を守る町づくりに、さらなる努力を重ねてまいります。

議会は、円滑円満な議会運営に努めると共に、議会の品位と権威を高め、意思決定機関としての使命を果たすべく、全力で取り組んで参る所存であります。

町民皆様の温かいご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

議長・副議長選挙結果

◎議長選挙

堀江快治……………13票
藤岡健司……………1票

◎副議長選挙

下田一甫……………12票
岡野 勉……………1票
藤岡健司……………1票



新しい議会構成



生活福祉常任委員会

長瀬 衛
 弓田茂樹
 ○副委員長
 小峰明雄
 千葉三津子
 ◎委員長
 岡野 勉
 佐藤秀樹
 堀江快治



総務文教常任委員会

下田一甫
 藤岡健司
 ◎委員長
 宮寺征二
 荒木かおる
 ○副委員長
 岡部和雄
 村田忠次郎
 高橋達夫

議会運営委員会

委員長 岡部 和雄
 副委員長 長瀬 衛
 委員 千葉三津子
 宮寺 征二
 下田 一甫
 岡野 勉

議会だより編集委員会

委員長 藤岡 健司
 副委員長 岡野 勉
 委員 弓田 茂樹
 佐藤 秀樹
 荒木かおる
 村田忠次郎

一部事務組合の構成

坂戸地区衛生組合議会

村田 忠次郎
 小峰 明雄

毛呂山・越生・鳩山公共 下水道組合議会

弓田 茂樹
 荒木かおる
 宮寺 征二
 藤岡 健司

埼玉西部環境保全組合議会

下田 一甫
 岡野 勉
 長瀬 衛
 堀江 快治

高橋 達夫
 堀江 快治

西入間広域消防組合議会

佐藤 秀樹
 千葉 三津子
 岡野 勉
 長瀬 衛
 岡部 和雄

広域静苑組合議会

藤岡 健司
 下田 一甫
 高橋 達夫
 岡部 和雄

会派

自民クラブ

◎岡部 和雄

堀江 快治
 下田 一甫
 宮寺 征二

公明党

◎千葉三津子
 荒木かおる

無所属会派 絆

長瀬 衛

自民政志会

小峰 明雄

社会民主党

岡野 勉

日本共産党

藤岡 健司

黎明

村田忠次郎

自民元気会

佐藤 秀樹

情熱会

弓田 茂樹

無所属

高橋 達夫

◎印が会派の代表者

一般会計決算を認定 (賛成多数認定)

一般会計決算	区 分	金 額
	歳 入 総 額	101億3,312万円 (前年度比6.1%増)
	歳 出 総 額	97億9,985万円 (前年度比5.0%増)
	歳入歳出差引額	3億3,326万円 (*うち繰越明許費657万円)
	実 質 収 支 額	3億2,669万円

繰越明許費内訳：武州長瀬駅北口周辺地区整備事業等

平成23年9月定例議会は、9月12日から30日までの会期で開催されました。今議会の議案は、条例の一部改正2件、規約の変更1件、補正予算7件、決算の認定7件、人事3件、報告2件、合計22件が上程され慎重な審議が行われ、一般質問には11名の議員が登壇し活発な質問が展開されました。

●歳入内訳

(単位：千円)

科 目	決算額
町 税	37億4,671万8
地 方 譲 与 税	1億0,721万6
利子割交付金	1,284万4
配当割交付金	690万0
株式等譲渡所得割交付金	231万7
地方消費税交付金	3億1,706万2
ゴルフ場利用税交付金	6,918万0
自動車取得税交付金	4,123万9
地方特別交付金	5,872万4
地方交付税	17億6,115万5
交通安全対策特別交付金	546万6
分担金及び負担金	1億1,458万9
使用料及び手数料	5,989万6
国庫支出金	13億0,060万9
県支出金	7億4,185万5
財産収入	5,905万6
寄付金	58万2
繰入金	2億2,172万3
繰越金	2億1,983万7
諸収入	1億1,647万4
町債	11億6,967万5
合 計	101億3,312万2

●歳出内訳

(単位：千円)

科 目	決算額
議 会 費	9,676万7
総 務 費	16億3,889万3
民 生 費	31億1,586万5
衛 生 費	7億6,207万6
労 働 費	3,072万9
農 林 水 産 業 費	1億4,026万9
商 工 費	4,395万9
土 木 費	13億5,368万1
消 防 費	5億7,563万8
教 育 費	11億5,128万2
災 害 復 旧 費	0
公 債 費	7億3,939万0
諸 支 出 金	1億5,130万2
予 備 費	0
合 計	97億9,985万6

- やぶさめサミット開催
- 川角中学校耐震補強工事
- 役場庁舎耐震補強工事
- 町道維持・新設改良事業
- 町内循環バスの運行
- 長瀬駅前野久保線事業
- 毛呂山町史改訂版発行

22年度主な事業

一般会計決算討論

反対します

藤岡 健司 議員

個人町民税は、8・0%の減額となり、固定資産税は、0・9%の増額となりました。

町民税の減少は町民の所得が減少したこと、固定資産税の増額は、新しく家が建ったものと思われる。22年度も深刻な不況の1年だったのではないか。格差が広がりに年収200万円の人、1000万人を越え、大変な状況になっていきます。税金の納税も大変な状況になっていくのではないかと。そういう中で、税金の徴収の方法も、変化が求められねばならなかったのではないか。

町の財政に占める都市計画道路事業の割合があまりにも多過ぎると思う。

3月11日以降、世の中が一変して税金の使い方も、より一層考えなければならなくなっています。こういう時に町として橋上駅舎の計画を、このまま進めていいのだろうかという疑問が残る。

長瀬 衛 議員

限られた予算の中、職員の仕事向上への意気込みは評価したい。相変わらず地方交付税頼みだが、企業誘致の促進など選択と集中の考え方がほしい。介護予防など在宅福祉事業に成果が見られるが、見守り活動等への課題もある。町次世代育成計画の推計で7年後、保育需要は430人程度となる。民間5園の受け入れ枠は約400人。90人定員の旭台保育園に続く公立保育園計画は根拠がない。長瀬駅利用者数がピークか

ら42%減少し、東毛呂駅を下回り町内3駅で最少となった。橋上駅は通勤帰り利用者にとつて現在の10倍の階段を上り降りさせられ極めて過酷。8億円を使って町民に不利益だ。場当たり的で理念なき行政はやめ、住民の立場で貴重な税をどう使うかという政治の原点に立つべきだ。

岡野 勉 議員

本決算は前町長の編成であり、少し外向きの感じがします。また、国の施策が本町に与えた負の影響を指摘せざるを得ません。第一に「小泉構造改革」は強力に「官から民」を押し進め、非正規労働者は4割に迫り、何と1年間で町民平均所得は19万円も引き下げられました。この中で歳入の個人町民税は大幅に減収です。町民の暮らしは、生活保護世帯の増加、納税率を悪化させ、10年で就学援助費は3倍に跳ね上がりました。

さて、この中で町の施策はどうあるべきか。当然に安心・安全な町づくりのため民生・医療・福祉費が厚くあるべきですが、高額の支出を伴う「長瀬駅前野久保線・橋上駅舎工事」が進められ、「若草保育園の耐震対策が2、3年手つかず」の状態にあります。

今後、福祉と医療の町に相応しい予算を期待します。



賛成します

小峰 明雄 議員

小沢前町長の3期12年の総仕上げとなる決算であり、第4次毛呂山町総合振興計画・前期基本計画の最終年度でもあります。歳出では、

役場庁舎の耐震補強工事・児童生徒の命を守る、泉野小学校、川角中学校の校舎耐震補強工事・私立保育所等に対する緊急整備事業補助金等、限られた財源を効率よく最大の効果を上げる努力が伺えます。歳入では、適切な財政運営を行ったことが認められ、経常収支比率が前年度と比較して4・5%改善され、82・7%を示し、財政状況の健全化は保たれていることが伺えます。井上町長を中心として全職員が一丸となって今後の厳しい財政状況に備える努力を尽くし、次代を担う子ども達の為に、少しでも良い世の中を創りあげ、賛成討論といたします。



平成22年度

特別会計決算

国民健康保険

一般被保険者
平均被保険者数
1万735人
療養の給付
1人当たり費用額
30万5123円

決算額は、歳入総額1081万円。歳出総額1081万円です。
(賛成多数認定)

水道事業
給水戸数
1万5645戸
給水人口
3万6237人

(賛成多数認定)

農業集落排水

生活環境の整備と河川や用排水路の水環境の保全を目的とした事業。

(賛成多数認定)

老人保健

老人保健

月遅れ請求分に対して給付を行いました。

(賛成多数認定)

資本的収入の決算額は4億998万円。資本的支出の決算額は8億3060万円です。

介護保険

被保険者数
8412人
要介護認定者数
1047人

決算額は、歳入総額3087万円。歳出総額2357万円です。歳入歳出差引額は730万円です。
(全員賛成認定)

後期高齢者医療

被保険者数
3366人
1人当り年間保険料
5万5916円

決算額は、歳入総額2億5044万円。歳出総額は2億4475万円です。
(賛成多数認定)

平成23年度 補正予算

一般会計(第3号)

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ4億7882万円を追加し予算総額を100億2182万円としました。
(全員賛成可決)

一般会計(第4号)

予備費より消防費448万円とする追加議決を行いました。
(全員賛成可決)

国民健康保険

国民健康保険特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億6696万円を追加し、予算総額を46億8354万円としました。
(全員賛成可決)

水道事業

水道事業会計補正予算は、事業費用78万円追加し、資本的支出600万円追加しました。
(全員賛成可決)

農業集落排水

農業集落排水事業特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ140万円を追加し、予算総額を2873万円としました。
(全員賛成可決)

介護保険

介護保険特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ434万円を追加し、予算総額を17億406万円としました。
(全員賛成可決)

後期高齢者医療

後期高齢者医療特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ126万円を減額し、予算総額を2億6195万円としました。
(全員賛成可決)

条例の改正など

○職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

○毛呂山町特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

○埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更及び財産処分について
(全員賛成可決)

常任委員会レポート

委員会に付託となった議案審査を行いました

《生活福祉常任委員会》

平成22年度一般会計決算認定のうち、歳出の部民生費・衛生費・労働費・農林水産業費・商工費・土木費・災害復旧費、特別会計決算認定（国民健康保険・水道事業・老人保健・農業集落排水事業・介護保険・後期高齢者医療）について審査しました。尚、審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



苦林浄水場

《総務文教常任委員会》

平成22年度一般会計決算認定のうち、歳入の部全部及び歳出の部議会費・総務費・消防費・教育費・公債費・諸支出金・予備費について審査しました。尚、審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



川角中学校体育館

● 議案の審議結果（9月定例会）

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 議は議長

議案	議員名（期数順）	議員名													審議結果	
		弓田茂樹	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	宮寺征二	藤岡健司	下田一甫	岡野勉	小峰明雄	高橋達夫	長瀬衛	岡部和雄		堀江快治
35	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
36	毛呂山町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
37	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更及び財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
38	平成23年度毛呂山町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
39	平成23年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
40	平成23年度毛呂山町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
41	平成23年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
42	平成23年度毛呂山町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
43	平成23年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
44	平成22年度毛呂山町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×討	○	○	○	○	○	議	認定
45	平成22年度毛呂山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×討	○	○	○	○	○	議	認定
46	平成22年度毛呂山町水道事業決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×討	○	○	○	○	○	議	認定
47	平成22年度毛呂山町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議	認定
48	平成22年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	認定
49	平成22年度毛呂山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×討	○	○	○	○	○	議	認定
50	平成22年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×討	○	○	○	○	○	議	認定
51	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
52	平成23年度毛呂山町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
53	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
54	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	退	議	同意

いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- 小峰明雄議員** ①教育・子育て環境の充実
②6次産業化法
③道路災害対策
- 長瀬 衛議員** ①基本政策など
- 藤岡健司議員** ①放射能汚染の常時監視体制の整備
②一人住まいの高齢者への支援
③教育
- 千葉三津子議員** ①町の道路行政
②放射能汚染
- 岡野 勉議員** ①安心安全なまちづくり：原発
②子育て支援：子ども医療費の窓口
払い廃止
③社会保障（医療）の充実を！
- 荒木かおる議員** ①子ども医療費窓口支払廃止
②町道の溢水いっすい
- 下田一甫議員** ①道路行政
- 高橋達夫議員** ①井上町長施政方針
②統一地方選挙
- 佐藤秀樹議員** ①企業誘致先の現状並びに今後の見
通し
②U字溝工事の進め方
③長瀬駅周辺の道路状況
- 岡部和雄議員** ①町長の政治姿勢と資質
- 村田忠次郎議員** ①今後の毛呂山町の後継者育成
②安全安心な町づくりに向けて
③産業の振興

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載いたしました。質問順は抽選により決定されます。

次年度の学校トイレ 全面改修は

毛呂山小・川角小の 低学年用トイレを改修

小峰 明雄 議員

問 小学校生活へと円滑につなげる、子育ての目安「3つのめばえ」ご所見と取り組み課題は。

答 幼保小連絡協議会にて事業の趣旨を説明し、保護者への啓発を積極的に進めることを確認。

問 学校トイレの改善が重要であると、平成11年第1回定例議

会より一貫して言い続けてきましたが、当初予算の小学校トイレ、改修工事の進捗状況は。

答 光山小・泉野小の1年生用トイレを改修、内容は、トイレの洋式化、床の乾式化、ブース内装、照明、給排水と全面的な改修を10月には工事発注したい。

問 学校図書館の図書達成率は。

答 毛呂山小のみ標準冊数に達しておりませんが購入を進める。

問 子育て応援タウンの認定に向けた取り組みは。

答 毛呂山中学校区に未設置の為、上町保育園の建て替えに併せて子育て支援センターを設置。

問 本年3月施行の6次産業化法による地域ビジネスの創出は。

答 中山間地域のゆずをはじめとする産物など、豊富な地域の資源を活かした、活力ある地域づくりにつなげてまいりたい。

問 中山間地域における道路の安全確保への取り組みは。

答 異常気象発生時には、パトロールを実施、異常箇所を早期発見と安全を確保する維持管理を行っている。

問 ハイキング道の整備は。

答 奥武蔵自然道の災害は職員で対応。権現堂の単管パイプで対応した橋は、定期的に安全確保を行う。

問 高齢化が進み、道路の除草作業が実施できないが。

答 取り組み団体と相談。

問 景観を考慮した鎌北湖の道路施設整備のご見解は。

答 湖の景観と自然に配慮した工法にて整備していく。

平成23年9月1日現在学校図書館図書標準冊数

	標準冊数	保有冊数	達成率
毛呂山小学校	9,960	6,810	68.4%
川角小学校	8,760	9,324	106.4%
光山小学校	8,360	8,732	104.4%
泉野小学校	10,760	11,131	103.4%
毛呂山中学校	12,640	12,650	100.1%
川角中学校	10,720	11,158	104.1%

1冊の目安1,500円は流動的に！



あつという間に12年、そして、南北に広場が3箇所！

駅前土地買収に始まり橋上駅舎で 閉じた前町政への評価は！

優先順位など見直しもあるが、
やぶさめサミットなどを評価！

長瀬 衛 議員

問 前町政12年間は長瀬駅前土地買収に始まり、橋上駅舎で閉じた。箱もの行政に終始し、町活性化へ進展はなく、合併もトップの責任を果たせなかった。高齢者は増え、子ども人口も減少し、町

活力は失われつつあり、評価できない。前町長の強力な支援で当選したが、どの施策を評価し、継承するのか。
答 学校木質化と漏水修理との優先順位等ができていなかった前町政の見直しも若干ある。選挙で絶大な支援を受けたと

の判断は中々できない。前町長と私の選挙は全く違う。

泉野小プレハブ校舎、デイケア施設、循環バス、図書館、体育施設の指定管理者制度、学校iPAD導入、やぶさめサミット、緑の基金条例を高く評価し、行財政改革を継承する。

問 前町長は、子ども医療費、町界町地名番整理、防犯活動C、東公民館、大類ソフト場、野久保線等を自ら評価したが、野久保線をなぜ評価しないのか。
答 町議時代、町が進める工事について議員として立場を表すべきと考えた。野久保線中止の

場合に補助金返還もあり得、しっかりと粛々と続けるべきと評価した。

次の都市計画県道整備は！

問 野久保線にこだわった前町長は新川越越生線との接続を強調し、川越坂戸毛呂山線について否定した。6月議会の新町長答弁は「新川越越生線はあり得ない」

答 県も事業認可しておらず中々難しいと言った。川越坂戸毛呂山線は4分団車庫前から斜めに計画されており、渋滞交差点を過らなくても7号線に結ばれるので県に打診している。

線量計をあと何台か購入を

線量計の追加購入の計画はない

藤岡 健司 議員

問 線量計をあと何台か購入し、定期的な測定と住民への貸出しなどの考えは。

答 線量計の追加購入の計画はない。また、町の公共施設を東西に分け1ヶ月2回程度測定を行い、役場庁舎については、平日の毎日測定を行う。貸出しは

検出器の有感部分の内部が衝撃に弱いため、考えていない。

問 放射線量が高いところの測定など測定方法は。

答 雨どいから流出する付近、及び集水桝等の水溜りができるようなところは、放射線量が比較的高い値となりますので、可

能な限り調査を行う。また、測定方法については、地表から5cm、50cm、1mの高さ位置で測定

一人住まいの高齢者への支援
問 高齢者の社会的孤立と孤独死などの現状。
答 高齢者人口は7月末現在8,603人、高齢者2人世帯は2,782世帯、単身世帯は1,823世帯、孤独死は平成21年度は3人、平成22年度は6人、平成23年度はすでに6人の方が不幸にしてご自宅で亡くなられていた。

問 教育について
教職員が多忙とされている

現状。

答 小学校では、児童の登校時から下校時まで常に児童への直接業務に携わるため、授業準備や成績処理等の業務や会議・打合せ等の校務は、児童が下校した後集中して行わなければならないのが現状。中学校でも現状は、小学校と同様であり、さらに朝や放課後には部活動指導があります。また、学校教育に対する様々な期待やニーズへの対応など、教員の仕事は今後ますます増える傾向にある。



町が購入する線量計



早く改修が待たれる側溝未整備箇所

道路行政について

危険な通学路は特に優先

千葉 三津子 議員

問 この度、町民の皆様から道路の不整備な箇所が大変に多いとの御指摘をいただきました。そのひとつに、第3、第4団地内の側溝整備がされていないという事です。

答 本町は、首都圏50キ

ロ圏内に位置することからベツトタウンとして、昭和37年から武州長瀬駅周辺に第1団地を始め、第2団地、第3、第4団地、毛呂山台、日生団地など次々に住宅団地ができ、これら団地内の排水施設も長年の自然劣化による破損や傷みが多く見られる

箇所もある。側溝の破損などの危険な箇所は、部分的な補修により対応。路線全体の側溝が老朽化している箇所については、蓋付きの側溝の入れ替えを実施している。第3、第4団地の側溝整備については、下水道管理に伴う舗装の仮復旧箇所も多いので、下水道組合との費用負担協議や水道管、ガス管等の工事計画とよく調整を図りながら整備を進めたい。

問 通学路である町道第3311号路線は大雨が降ると道路が溢水してしまい、長靴をはいても歩けない状況。通学路安全確保を進めたい。

答 問題の溢水箇所は道路側溝が無く、さらに窪地状の地形の為南側より流下してくる雨水が集まる場所。排水対策として集水桝を設置し、暗渠により下流の側溝に接続させているが、側溝断面では処理できない水が溢水を起しているのが下流の排水溝造から見直し早期対応する。

問 通学路は最優先に考えていただきたい。

答 危険な通学路対策は特に優先すべきもので効果的な予算計上に努めたい。

子ども医療費の窓口払い廃止を！

来年度、4月から実施したい

岡野 勉 議員

問 6月議会以降、そして町議会議員選挙でも子育て世代や保護者から「窓口払い廃止」の要望を沢山いただいた。町長の答弁でも「今年の秋から（早急な対応）」を約束された進捗状況は、

答 6月議会では「対応できる病院、薬局から」と考えたが、町全体が「足並み」を揃えて、スタートを切ることが一番いいと思っている。

問 歯科医師会、埼玉医大など、まだ、検討課題が残されている様子がある。これ以上、遅らせることは「子ども達・保護者にとっても負担が大きい」、

予算の裏付けも含め、来年度4月から実施する決意をお聞きする。

答 関係各位の同意をいただき、来年度4月からの実施を目指し対応して参ります。

問 放射線測定器の住民貸出を！

答 「放射線測定器」の住民への貸し出しは可能か。

答 公共施設に限り、希望があれば職員で測定します。

問 子どもは公共施設とは限らず生活している。希望があればぜひ、保護者・子どもの要望する場所の測定をお願いする。

答 町民の要望は際限がなく広がる。公共施設に限りたくない。

問 残念な答弁だ。子どもを思う親の気持ち、住民の安全を思う気持ちは尊重すべきだ。一台で足りないなら、追加購入する気持ちが行政には必要だ。

答 住民のまとまった要望場所なら公共施設の別なく測定する。

問 国民健康保険税が大家族(子沢山)、まじめに働く家族に重い負担となっている。ぜひ、改善すべき。

答 平成21年度から3年が経過した、研究・検討する。



来年4月実施に向け、万全の体制を！



前久保中央公園ロータリー付近

子ども医療費 窓口支払廃止について

審査支払機関に委託し、 円滑な支給体制を整備

荒木 かおる 議員

問 他の市町村では子供医療費窓口支払いが簡素化されていたが毛呂山町に越して来てまだ簡素化されておらず困っているとの要望が多い。6月の議会だよりには秋頃までの要望が多い。7月の医療機関に委託し、円滑な支給体制を整

から実施の方向で。とあるが具体的な医療機関は決まっているか。また6月議会からどのような進展があったのか。
答 7月より毛呂山、越生町区域の医療機関に対し協力依頼している。町では審査支払機関に委託し、円滑な支給体制を整

備し、今後は協力医療機関を中心に審査支払機関を含めた事務説明会を開催し協定の締結をして参りたい。

問 町道の溢水について
答 8月7日の雷雨に続き、台風12号により前久保中央公園ロータリー付近で床下浸水の被害が発生した。前久保中央公園と道路との高低差が原因かと思われるが今後の町の対策は。
答 近年の温暖化により、各地で異常気象が発生し、8月7日は想定外の雨量で町内数ヶ所で冠水が発生し、職員が土嚢等の応急的な対応をした。前久保中

央公園の溢水は、公園の構造上の問題ではなく、下流の排水断面が小さい事が原因しているもの。

問 当事者は、公園ができる前はどのような被害は無かったと言っておられるか。
答 開園から数年間は溢水被害はなく、その後、ゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な雨により対応しきれなかった排水断面が原因。今後は想定外と考えていた雨量も想定内と捉え、早急に整備を進める。

市街化区域内町道整備を

生活道路は優先して整備する

下田 一甫 議員

問 都市計画税が課税されている市街化区域内で自家用車はもとより緊急車両が進入出来ない、あるいは対向車両との行き違いが出来ないなど改良を早期に求められる道路が数多く存在している。モータリゼーション社会の中でこのような状況でいい

か。
答 団地内の側溝修繕など市街化区域内の整備の重要性や優先度は必然的に高くなると考えられる。生活道路を優先したいので担当に調査を指示した。又、地域住民から要望が無くても道路整備はしたい。道路網整備計

画の作成準備を始めている。

川角駅道路新設

問 町長選の政策の中で川角駅道路新設を謳っているが、この取り組みは始まっているのか。
答 乗降客調査で利用者の大半が町外の学生と検証された。整備に対して側面から協力を願うため大学と高校を訪問した結果、町と協力していただける事になったので他の関係者との調整を進めながら計画を進める。

川越坂戸毛呂山線

問 仮称川越坂戸越生線の都市計画決定が未だ見えない今、すでに都市計画決定がされている

川越坂戸毛呂山線の方がすでに工事が始まっている。川越自動車道の坂戸西スマートインター、あるいは接続する川越坂戸毛呂山線バイパスが毛呂山に近接開通している事、スマートインターに接し、工業・流通系の土地利用計画が進んでいるなどを考えると川越坂戸毛呂山線の交通量増加は必須と考えられるがどうか。

答 この路線は町にとって企業誘致等活性化の一翼を担う重要路線と認識している。事業化に向け検討する。



市街化区域内未整備生活道路



来年度建替えを予定している上町保育園

子ども医療費窓口払い 廃止による経費は

毎年ほぼ2,500万円位の 新たな経費がかかる

高橋 達夫 議員

問 町長が施政方針で述べている「協働の町づくり」とは。

答 町行政だけが公共のサービスを担うのではなく、住民、団体、事業所などの地域の構成員が町づくりの情報を共有し、

役割を分担・協力し、町づくりに貢献することである。

問 来年度より子ども医療費窓口払いを廃止した場合にはどの位の新たな経費が必要か。

答 来年度は支給管理システムの変更等で230万円、来年度以降毎年かかる経費はレセプト審

査手数料で400万円、窓口で支払いが無くなると言う意識から、例年より2,100万円の医療費の増加が見込まれる。

問 自助・共助・公助を踏まえた町づくりとして、福祉行政をもう一度見直し、「自分の事は自分の責任で自分自身で行う」個人で行う事が困難な事や地域、民間の力で解決出来ない事について公共が行うと言っている。この子ども医療費窓口払い廃止こそ、容易に個人でできる自動の部分ではないのか。

答 この新たに毎年かかる2,500万円はどのような福祉施策

を削って生み出して来るのか。

答 行財政改革により、予算編成の段階で調整を行い、財源を見つけ出す。

上町保育園の建替えは

問 老朽化した上町保育園建替えについての町の考えは。

答 上町保育園の建替えは現在の人口減少傾向による少子化の影響等を踏まえ、子育て支援センターの併設。場所は旧内野邸を予定している。

問 設計予算の執行はいつか。

答 10月末頃の予定である。

問 来年度建替えを行うのか。予定通り来年度建替える。

毛呂山町に是非企業誘致を!!

最初の企業を誘致することに 全力を尽してまいります

佐藤 秀樹 議員

問 企業誘致先の現状並びに今後の見通しについて

答 南部地区は新飯能寄居線バypassの開通が待たれる状態で、現在具体的な協議はございませんが状況確認の問い合わせは数件来ております。東部地区については、地区内の工場跡地が競

売にかけられており、結果が年内には出るので大手企業が取得すれば、一気に動きが出ると期待しております。凍結した西大久保地区の工業団地予定地は、平成13年に県が工業団地の新規開発を原則凍結することになり、町としてもやむを得ず凍結と判

断を下し現在に至っております。道路行政について

問 第1団地、第2団地、毛呂山台、その他各団地の側溝工事に対し今後の計画をお聞かせ願います。

答 現在も計画的に進めております。今後も優先順位や整備効果をよく見定めながら計画的に整備を進めて参ります。

問 長瀬駅前前の踏切から東和銀行付近の歩道は勾配があり高齢者並びに障害をお持ちの方が歩きづらく、また雨が降ると雨水があふれ出ます。早急に改善が出来るかどうかご質問致します。

答 駅南側の道路はマウンタアップ型と言ひ、施工当時はガードレール等の防護柵を付けなくても段差により歩行者の安全確保ができて景観も損なわない工法が主流でした。しかしながら昨今は高齢者や障害のある方さらには妊婦や子供達にも安全で利便性の高い、福祉に配慮した整備が法の要求められております。町としても、皆様が安心して通行できる様、危険な箇所については適切な対策を実施して安全の確保に努めます。



早く土地を整備し企業を呼び毛呂山に潤いを



町内の商工業を守れ！

町の財政が心配だ！ 町長の知識と経験は

農業経営の経験を活用する

岡部 和雄 議員

問 町長の経済財政感覚では、町の将来が心配だ。
答 農業経営の知識と経験で町政運営を民間的センスで財政運営をする。

問 意識改革をしなくてはならないのは町長だ。報酬の削減、協働の町づくりでは財源が生み出せない。歳入の確保と増を目指せ。若者の雇用の確保と人口減少を止める施策を一番に考えるべきだ。
答 苦しい農業経営を今日まで続けた。先を予想して早い見切りで時代に合った農業をした。桂木の木を切り新しい観光名所

をめざす。いちご農家を育てた。観光行政で企業家を育て所得を増やす政策をする。
町長の政治姿勢
問 4年前は県議選に出馬する表明をしたがなぜ今回は町長選。複雑であるため、ここでは、差し控えていただきます。
答 地域性のある町議選の方が投票率が上がる。町長の投票所の率が町長選より低いのはなぜ。
問 目白台の地区があり前回の衆議院選挙では子供手当などの公約があったので高い投票率だ。
答 政権政党の民主党候補者をきたる衆議院選挙では、町長は

支持するのか。政治スタンスは。許される範囲内での関わり合いを考えている。
前町長から受け継いだ課題
答 武州長瀬北口整備は、計画性があることから継続して進める事業です。平成23年から2年で橋上駅舎の整備を行う。野久保線事業は、本年度は3件の地権者と契約する。用地買収率は、約63%となる。事業最終年度は、平成26年です。上町保育園の建て替えは、子育て支援センターを併設した施設です。旧内野邸を予定する。10月中旬に設計業者の入札を予定。

次代の担い手として いかなる人材を育てたいか

心身ともに健康で意欲的な子に

村田 忠次郎 議員

問 次代の担い手として如何なる人材を育てたいか。

答 次代の健全な成長に毛呂山町のみならず日本の将来がかかっていると深く認識しています。町長部局と教育委員会が更に密接な関係を保ち、豊かな自然を活かして心身共に健やか

充実を図る努力をして参ります。
問 校舎内の木質化について。
答 校舎の老朽化に対する改修工事に合わせて順次整備を進めて参ります。
問 トイレの改修について。
答 便器の洋式化、床の乾式化、全面的な改修を行います。小学校低学年から順に行います。
問 安心安全な町づくりに向けて：放射能対策は。
答 放射能測定器を購入・活用して「放射能監視体制の強化」をして参ります。

心配：水害の予測と対策は。
問 中山間地を「急傾斜地崩壊危険箇所」に、苦林付近を「浸水想定区域」に指定し、注意喚起を行っています（川底をさらう事業は一ヶ所）。
答 安全、安心な農産物の栽培と販売について。
問 土づくりから低農薬、化学肥料の削減等、環境にやさしいエコファーマー制度の農家への周知に努力し、更に放射能の監視を行います。安全な農産物の確保に努めます。

育つ。何事にも意欲的な子どもを育てたいと考えております。

問 子育て家庭に経済的支援を
答 町内保育所の児童に対し、第2子は保育料半額、第3子は保育料無料です。こども医療費の窓口払いは廃止の準備を進めています。今後も子育て支援の

崖崩れ、河川の水位の上昇が



夢を追って

人事

副町長

(新任)

小山 格 氏

毛呂山町長瀬
昭和31年10月生

監査委員
(新任)

高橋 達夫 氏

毛呂山町中央
昭和18年12月生



(新任)

栗田 博 氏

毛呂山町大類
昭和24年1月生

農業委員会委員
(新任)

長瀬 衛 氏

毛呂山町南台
昭和23年9月生

教育委員会委員
(再任)

村本 洋 氏

毛呂山町岩井東
昭和19年9月生

全員協議会

◎初議会の議事日程など

◎埼玉西部環境保全組合次

期更新施設における周辺
対策事業の基本的な考
方及び負担金の見直しに
ついて

◎平成23年度毛呂山町一般

会計補正予算(第4号)
について

【内容】防災行政無線運動

による消防団員招集サイ
レン装置更新について

◎副町長の選任及び教育委
員会委員の任命について

議会の動き

- 7月20日 第73号議会だより発行
- 8月 4日 埼玉県町村議会議長会議長県外視察
(長野県 小布施町、軽井沢町)
- 5日
- 9日 西入間広域消防組合議会臨時会
- 10日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組
合議会定例会
- 11日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
- 12日 坂戸地区衛生組合議会定例会
- 21日 毛呂山町議会議員一般選挙
- 9月 1日 第3回(9月)議会臨時会
全員協議会
- 5日 議会運営委員会
- 12日
() 第3回(9月)議会定例会
- 30日
- 12日 全員協議会
- 15日 全員協議会
- 16日 議会運営委員会
- 22日 } 総務文教常任委員会、生活福祉常
26日 } 任委員会
- 27日 }
- 30日 議会運営委員会
全員協議会
- 10月 5日 西入間広域消防組合議会定例会
広域静苑組合議会臨時会
- 14日 埼玉県町村議会議長会議員研修会
(吉見町「フレサよしみ」)

次回定例会は12月です。

9月臨時会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
9月1日(木)	0

9月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
9月12日(月)	0
13日(火)	45
14日(水)	46
15日(木)	27
16日(金)	0
20日(火)	0
30日(金)	1

傍聴席



議会だより編集委員

あとがき

議会だより第74号は、まだ夏の暑さが残る議会初日の9月12日に第1回編集会議が開催されました。

季節は夏から秋へ移り、やぶさめ祭りの近づく頃の10月20日に発行されます。今回は、新しく加わった議員が表紙の写真撮影などで町内を回り、1枚のショットとなりました。今後も、より一層町民に親しまれる議会だよりにするために編集委員一同がんばってまいりますので、よろしくお祈りします。

藤岡 健司

編集委員

委員長 藤岡 健司

副委員長 岡野 勉

委員 弓田 茂樹

佐藤 秀樹

荒木かおる

村田忠次郎

アドバイザー
(議長) 堀江 快治